

Cisco ワイヤレスフォン 9821

目次

製品概要	3
機能	4
発注情報	14
保証	16
ガイドライン	16
Cisco Capital	17

製品概要

Cisco® Wireless Phone 9821 は、9800 シリーズに新たな性能と柔軟性をもたらす製品であり、変化の速い現場で働くフロントラインワーカーやモバイルワーカーのニーズに応えるために設計されています。PhoneOS 上で Wi-Fi 6E を搭載し、オンプレミス環境とクラウド環境の両方で堅牢で安全なビジネス通話を提供します。交換可能なバッテリーと AI によるノイズ除去を備えた共有利用に適した設計により、信頼性の高い通信を実現し、最も困難で騒音の多い環境でもチームの連携と生産性を維持します。

組織の **72%**が現場で働く従業員（フロントラインワーカー）に支えられている中、**9821** は医療現場の医療従事者、製造業の倉庫スタッフ、小売やホスピタリティのスタッフにとって不可欠なツールです。このデバイスは耐久性を重視して設計されており、**IP54** 規格に準拠し、**MIL-STD-810** に基づく試験を実施した防塵・防水・耐衝撃性を備えた堅牢な外装を採用しています。手袋を着用したままでも操作しやすいボタンは、厳しい環境下でも信頼性の高い操作を可能にします。安全性は専用アクションボタン、プッシュトゥーク、落下検知など、製品設計の中核に組み込まれており、スタッフは自信を持って迅速に対応できます。

IT 部門にとって、**9821** はゼロタッチプロビジョニングと **Cisco Control Hub** による統一管理を通じて既存ワークフローにシームレスに統合することで業務を効率化します。導入を簡素化し、複雑なオンボーディングサイクルを不要にするだけでなく、このデバイスは **Transport Layer Security (TLS) 1.3** および **Trusted Platform Module (TPM) 2.0** によるエンタープライズグレードのセキュリティを確保します。この電話はセキュアな企業インフラ内でのみ機能するように設計されているため、盗難防止の自然な抑止力としても機能し、IT 部門に安心感とデバイス全体を包括的に可視化できます。



図 1.
Cisco ワイヤレスフォン 9821、デスクチャージャー、マルチチャージャー

機能

Cisco Wireless Phone 9821(図 1)は、厳しい作業環境だけでなく一般的なオフィス環境のユーザ向けに設計されています。音声通信の強化、労働者の安全、Quality of Service (QoS)、企業レベルのセキュリティなど幅広い機能をサポートしています。主な利点と特長を以下に示します。

表 1. 機能

項目	説明
機能 (登録された通話プラットフォームによって異なる場合があります)	- 短縮ダイヤル - アクションボタン (緊急時やヘルプデスクなどの用途に応じて設定可能) - ディスプレイの明るさとタイムアウト時間を調整可能 - 着信音と音量を調整可能 - アプリケーション起動パッド - Assured Services SIP (AS-SIP) - 着信時の音とバイブレーション - 自動回線選択 - 自動応答 - ヘッドセットの自動検知とヘッドセットによる自動応答 - キーパッドの自動ロック - AI ノイズ除去 - 割り込み (Barge) および cBarge - バッテリー管理と統計(バッテリー残量不足警告を含む) - ビジークランプフィールド (BLF)、BLF ピックアップ、BLF スピードダイヤル - 機密アクセスレベル(CAL) - 通話転送および通話転送通知 - 通話履歴 - コール パーク - コールピックアップおよびグループコールピックアップ - 通話録音 - 通話タイマーと着信待ち受け - 発信者 ID - コールバック - Cisco Unified Communications Manager WLAN プロファイル - 社内ディレクトリ

項目	説明
	• 会議およびミーティング • ダイレクト転送 • E911 (RedSky サーバーのロケーション URI) • クラスタ間のエクステンションモビリティ (EMCC) • Ethernet over USB (プロビジョニング用) • Extension Mobility サービス • 転倒検知/Man Down 検知の通知 • ファスト ダイヤル サービス • お気に入り • 聴覚保護 • 保留、保留復帰、すべての通話に復帰 • キーパッドロック、着信音 サイレントモード、ボイスメールアクセス用のホットキー • 即時転送 • インターコム • K ファクター (MOS 統計) • 直前に発信した番号へのリダイヤル – 緑のキー • ローカル連絡先 • ロケーション認識 • 悪意呼識別 • メッセージ待機インジケータ • モビリティ • 保留音 • ミュート • ネットワーク保留 • ネットワークプロファイル (4) • オンフックダイヤル/オフフックダイヤル • ピックアップ • スピードダイヤルの一時停止 • パーソナルディレクトリ • PLAR (プライベート回線自動リングダウン) • 発信前のプレダイヤル • 新規発信時の予測検索

項目	説明
	• プレゼンス • プライバシー • プッシュ・トゥ・トーク • 品質レポートツール(QRT) • リダイヤル • 着信音の設定 • ラインアピアランスごとの着信音 • セキュアトーン通知 • サービス URL • 共有回線とプライマリ回線のすべての通話表示 • サイレントモニタリング • 6 ラインアピアランス • 短縮ダイヤル • 相互認証トランスポート層セキュリティ(TLS 1.3)のサポート • 日時表示 • 転送 • URL ダイヤル • ボイスメール • ウィスパークーティング
ボタン	• 電源ボタン • 音量アップ/ダウン • 画面上のアプリケーション、各種機能、および操作にアクセスできる 2 つのソフトキーボタン • 緑色のキー(応答/発信/再ダイヤル)および赤色のキー(電源/通話終了) • 設定可能なアクションボタン (9821 の新機能で、カスタムワークフローやサイレントアラームなどをプログラム可能) • アプリケーションボタン (プッシュトゥトークおよびその他の XML アプリケーション用) • ミュート • スピーカーフォン • 五方向ナビゲーションサポート (ナビゲータークラスタ) • 数字キーパッド(0-9, *, #)
コーデック	• OPUS • G.722、G.722.2

項目	説明
	• iSAC • G.711 (a-law/μ-law) • G.729a/b • iLBC
LED	• 呼び出し、メッセージ受信、Wi-Fi ステータス、充電状態の LED
プロトコル	• Session Initiation Protocol (SIP)
通話コントロール	• Cisco Unified Communications Manager: 14 以降 • Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) • Cisco Webex® Calling • Webex Dedicate Instance (DI) • Cisco BroadWorks • サードパーティ コール プラットフォーム
セキュリティ機能	• セキュアブートおよびイメージ認証 • TLS 1.3 • Trust Anchor Module (TA-m) • 連邦情報処理基準(FIPS)140-2 コンプライアンスフレームワーク • デバイス、ファイル、シグナリング認証 • 安全なストレージ • Secure Cisco Unified SRST • セキュアリアルタイムプロトコル(SRTP)を用いたメディア暗号化 • TLS プロトコルを用いたシグナリング暗号化 • SIP OAuth 機能 • Certificate Authority Proxy Function (CAPF) • 802.1x 証明書更新向け Simple Certificate Enrollment Protocol (SCEP) サポート • デバイス証明書管理および信頼検証サービス(TVS) • Certificate Trust List/ Identity Trust List (CTL/ITL) 信頼リストサポート • セキュリティプロファイルと暗号化された設定ファイル • HTTPS サーバー/クライアントおよび SSH サーバー • SELinux サポート
プロビジョニングと管理	• Webex Control Hub (クラウド) または Cisco Unified Communications Manager (オンプレミス) 経由の構成 • 簡易化された Wi-Fi プロビジョニングおよびオンボーディング

項目	説明
	- 一括プロビジョニングサポート、スタンドアロンのプロビジョニングツール、またはデスクトップチャージャー/USB to Ethernet ドングルの組み合わせ - 設定および統計向けウェブサーバー - ローカル電話設定を無効にする機能 - QoS レポート: 通話ごとの Jitter、遅延、パケット損失、レイテンシ - リアルタイム制御プロトコル(RTCP)のサポートと監視 - Syslog と自動ログ収集 - バッテリー管理と統計レポート - リモートデバイスの再起動および工場出荷時リセット機能
構成オプション	- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) クライアントまたは静的設定 - TFTP (Trivial File Transfer Protocol) を使用したオンライン ファームウェア アップグレードのサポート - ドメイン ネームシステム (DNS)
アプリケーションフレームワーク	- XML (プッシュアウトトークおよびその他のサードパーティアプリをサポート) - ウェブサーバーおよびブラウザ機能のための HTML サポートアーキテクチャ
ユーザーローカリゼーション	アラビア語、ブルガリア語、カタルーニャ語、中国語 (中国)、中国語 (香港)、中国語 (台湾)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語 (イギリス)、英語 (アメリカ合衆国)、エストニア語、フィンランド語、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、ギリシャ語、ヘブライ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語 (ブラジル)、ポルトガル語 (ポルトガル)、ルーマニア語、ロシア語、セルビア語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語 (コロンビア)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語、タイ語、トルコ語、ウクライナ語、ウェールズ語。
ネットワーク ローカリゼーション	アルジェリア、アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、バーレーン、ベルギー、ブラジル、ブルガリア、カナダ、チリ、中国、コロンビア、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エジプト、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ガーナ、ギリシャ、香港、ハンガリー、アイスランド、インド、インドネシア、イラク、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、ヨルダン、ケニア、大韓民国、クウェート、ラトビア、レバノン、リトアニア、ルクセンブルク、マレーシア、モリタニア、メキシコ、モロッコ、ネパール、オランダ、ニュージーランド、ナイジェリア、ノルウェー、オマーン、パキスタン、パナマ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、カタール、モンテネグロ共和国、セルビア共和国、ルーマニア、ロシア連邦、サウジアラビア、シンガポール、スロバキア、スロベニア、南アフリカ、スペイン、スーダン、スウェーデン、スイス、台湾、タイ、チュニジア、トルコ、アラブ首長国連邦、アメリカ合衆国、イギリス、ウクライナ、ベネズエラ、ベトナム、イエメン、ジンバブエ

表 2. 無線特性

項目	仕様
プロトコル	IEEE 802.11a、802.11b、802.11g、802.11n、802.11ac、802.11ax (Wi-Fi 6E)、802.11e、i、k、v、r、d、h
周波数帯域と運用チャンネル	2.412 ~ 2.472 GHz (チャンネル 1 ~ 13) 5.180 ~ 5.240 GHz (チャンネル 36 ~ 48)

項目	仕様		
	• 5.260 ～ 5.320 GHz (チャンネル 52 ～ 64) • 5.500 ～ 5.720 GHz (チャンネル 100 ～ 144) • 5.745 ～ 5.825 GHz (チャンネル 149 ～ 165) • 5.925 ～ 6.425 GHz (UNII-5) • 6.425 ～ 6.525 GHz (UNII-6) • 6.525 ～ 6.875 GHz (UNII-7) • 6.875 ～ 7.125 GHz (UNII-8) • IEEE 802.11d は利用可能なチャンネルの識別に利用できます		
重複しないチャンネル	• 2.4 GHz (20 MHz チャンネル): 最大 3 チャンネル • 5 GHz (20 MHz チャンネル): 最大 25 チャンネル • 5 GHz (40 MHz チャンネル): 最大 12 チャンネル • 5 GHz (80 MHz チャンネル): 最大 6 チャンネル • 6 GHz (20 MHz チャンネル): 最大 59 チャンネル • 6 GHz (40 MHz チャンネル): 最大 29 チャンネル • 6 GHz (80 MHz チャンネル): 最大 14 チャンネル		
動作モード	• 自動 (2.4GHz よりも 5GHz/6GHz を優先) • 2.4 GHz のみ • 5GHz / 6GHz のみ		
データレート	• 802.11a: 6、9、12、18、24、36、48、および 54 Mbps • 802.11b: 1、2、5.5、および 11 Mbps • 802.11g: 6、9、12、18、24、36、48、および 54 Mbps • 802.11n: MCS 0 ～ MCS 7 (20 & 40 MHz) 最大 72 Mbps または 150 Mbps • 802.11ac: MCS 0 ～ MCS 9 (20、40、80 MHz チャンネル) 最大 86 Mbps、200 Mbps または 433 Mbps • 802.11ax: HE0 ～ HE11 (20、40、80 MHz) 最大 600 Mbps		
2.4 GHz の受信感度	IEEE 802.11b: • 1 Mbps:<-90 dBm • 2 Mbps: -90 dBm • 5.5 Mbps: -80 dBm • 11 Mbps: -70 dBm	IEEE 802.11g: • 6 Mbps:<-92 dBm • 6 ～ 12 Mbps: -92 dBm • 12 ～ 24 Mbps: -85 dBm • 24 ～ 36 Mbps: -80 dBm • 36 ～ 54 Mbps: -70 dBm	IEEE 802.11n HT20: • MCS 0: <-90 dBm • MCS 1: -90 dBm • MCS 2 ～ 3: -82 dBm • MCS 4 ～ 5: -75 dBm • MCS 6 ～ 7: -65 dBm

項目	仕様		
	IEEE 802.11ax HE20 • MCS 0: <-89 dBm • MCS 0 ~ 2: -89 dBm • MCS 3 ~ 4: -82 dBm • MCS 5 ~ 6: -76 dBm • MCS 7 ~ 8: -69 dBm • MCS 9 ~ 10: -62 dBm • MCS 10 ~ 11: -55 dBm		
5 GHz の受信感度	IEEE 802.11a: • 6 Mbps: <-90 dBm • 6 ~ 9 Mbps: -90 dBm • 12 ~ 24 Mbps: -82 dBm • 24 ~ 48 Mbps: -75 dBm • 48 ~ 54 Mbps: -65 dBm	IEEE 802.11n HT20 • MCS 0: <-90 dBm • MCS 1: -90 dBm • MCS 2 ~ 3: -82 dBm • MCS 4 ~ 5: -75 dBm • MCS 6 ~ 7: -65 dBm	IEEE 802.11n HT40: • MCS 0: <-88 dBm • MCS 0 ~ 2: -88 dBm • MCS 3 ~ 4: -80 dBm • MCS 5 ~ 6: -72 dBm • MCS 7: -62 dBm
	IEEE 802.11 ac VHT20: • MCS 0 ~ 2: <-82 dBm • MCS 2 ~ 3: -82 dBm • MCS 4 ~ 5: -75 dBm • MCS 6 ~ 7: -67 dBm • MCS 8 ~ 9: -60 dBm	IEEE 802.11 ac VHT40: • MCS 0:<-84 dBm • MCS 1 ~ 3: -84 dBm • MCS 3 ~ 4: - 78 dm • MCS 5 ~ 6: -72 dBm • MCS 7 ~ 8: -66 dBm • MCS 8: -58 dBm	IEEE 802.11 ac VHT80: • MCS 0:<-86 dBm • MCS 0 ~ 2: -86 dBm • MCS 2 ~ 3: -81 dBm • MCS 4 ~ 5: -75 dBm • MCS 6 ~ 7: -69 dBm • MCS 8: -63 dBm • MCS 9: -55 dBm
	IEEE 802.11 ax HE20 • MCS 0: < -88 dBm • MCS 0 ~ 2: -88 dBm • MCS 3 ~ 4: -81 dBm • MCS 5 ~ 6: -75 dBm • MCS 7 ~ 8: -68 dBm • MCS 9 ~ 10: -61 dBm • MCS 10 ~ 11: -54 dBm	IEEE 802.11 ax HE40 • MCS 0: < -86 dBm • MCS 0 ~ 2: -86 dBm • MCS 3 ~ 4: -79 dBm • MCS 5 ~ 6: -73 dBm • MCS 7 ~ 8: -66 dBm • MCS 9 ~ 10: -59 dBm • MCS 10 ~ 11: -52 dBm	IEEE 802.11 ax HE80 • MCS 0: < -85 dBm • MCS 0 ~ 2: -85 dBm • MCS 3 ~ 4: -78 dBm • MCS 5 ~ 6: -72 dBm • MCS 7 ~ 8: -65 dBm • MCS 9 ~ 10: -58 dBm • MCS 10 ~ 11: -51 dBm
6 GHz の受信感度	IEEE 802.11ax HE20 • MCS 0: < -87 dBm	IEEE 802.11ax HE40 • MCS 0: < -85 dBm	IEEE 802.11 ax HE80 • MCS 0: < -84 dBm

項目	仕様		
	• MCS 0 ~ 2: -87 dBm • MCS 3 ~ 4: -80 dBm • MCS 5 ~ 6: -74 dBm • MCS 7 ~ 8: -67 dBm • MCS 9 ~ 10: -60 dBm • MCS 10 ~ 11: -53 dBm	• MCS 0 ~ 2: -85 dBm • MCS 3 ~ 4: -78 dBm • MCS 5 ~ 6: -72 dBm • MCS 7 ~ 8: -65 dBm • MCS 9 ~ 10: -58 dBm • MCS 10 ~ 11: -51 dBm	• MCS 0 ~ 2: -84 dBm • MCS 3 ~ 4: -77 dBm • MCS 5 ~ 6: -71 dBm • MCS 7 ~ 8: -64 dBm • MCS 9 ~ 10: -57 dBm • MCS 10 ~ 11: -50 dBm
トランスミッタ出力パワー	2.4 GHz: • 802.11b:最大 17.1 dBm • 802.11g:最大 17.2 dBm • 802.11n HT20:最大 17.3 dBm • 802.11ax HT20: 最大 17.6 dBm	5 GHz: • 802.11a:最大 16.2 dBm • 802.11n HT20:最大 16.1 dBm • 802.11n HT40:最大 16.3 dBm • 802.11ac VHT20:最大 16 dBm • 802.11ac VHT40: 最大 16.4 dBm • 802.11ac VHT80:最大 15.3 dBm • 802.11ax HE20: 最大 16.3 dBm • 802.11ax HE20: 最大 15.7 dBm • 802.11ax HE80: 最大 15.6 dBm	6 GHz: • 802.11ax HE20: 最大 13.3 dBm • 802.11ax HE40:最大 13 dBm • 802.11ax HE80:最大 13.1 dBm
アンテナ	• 2.4 GHz: 1.9 dBi のピーク利得 • 5 GHz:3.5 dBi のピーク利得 • 6 GHz:2.2 dBi のピーク利得(CE)、3.2 dBi のピーク利得(FCC/IC/AU/NZS)、		
アクセスポイントのサポート	• Cisco IOS® Wireless LAN Controller (WLC) ライトウェイト アクセス ポイント ◦ 最小: 17.12 • Cisco Meraki® アクセスポイント 注: アクセスポイントのサポートと一覧については、『導入ガイド』を参照してください。		
ワイヤレス セキュリティ	認証： • Wi-Fi Protected Access (WPA) バージョン 2 および 3 Personal および Enterprise • Extensible Authentication Protocol - セキュアトンネル経由の柔軟な認証 (EAP-FAST)		暗号化: • Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) およびメッセージ整合性チェック (MIC) • 高度暗号化規格 (AES)

項目	仕様
	- Protected Extensible Authentication Protocol - 汎用トークンカード (PEAP-GTC) - Protected Extensible Authentication Protocol - Microsoft チャレンジハンドシェイク認証プロトコルバージョン 2 (PEAP-MSCHAPv2) - Extensible Authentication Protocol - トランスポート レイヤ セキュリティ (EAP-TLS) - ガロア/カウンタモードプロトコル(GCMP、192b) - 堅牢な管理フレーム保護(BIP-CMAC、BIP-GMAC) 注: TKIP は、ブロードキャスト/マルチキャスト暗号としてのみ使用できるため、アクセスポイントでは、AES をサポートする必要があります。
高速で安全なローミング	802.11r (FT) 802.11k, v
シグネチャの種類	Secure Hash Algorithm 1 (SHA-1) および Secure Hash Algorithm 2 (SHA-2)
鍵長の種類	1024、2048 および 4096 ビット鍵
QoS	- IEEE 802.11e および Wi-Fi マルチメディア (WMM) - Enhanced Distributed Channel Access (EDCA) - QoS 基本サービスセット (QBSS)

表 3. 仕様

項目	仕様
ディスプレイ	2.4 インチ(6-cm) IPS カラーディスプレイ、240×320 ピクセル解像度
寸法(HxWxD)	- 電話機: 5.2 x 2.2 x 0.7 インチ (13.2 x 5.6 x 1.7 cm) - バッテリー: 7.8 x 2.9 x .165 インチ (10.15 x 4.17 x .42 cm)
重量	デバイス 4.5 オンス (129g)、バッテリー 1.4 オンス (39g)、合計 = 5.9 オンス (168g)
バッテリー	- 充電式リチウムイオン 4.35V、2060mAh スマートバッテリー (最小電圧 3.8V、最小容量 2000mAh) - 満充電時の稼働時間: - 通話時間は最大 11.5 時間 - スタンバイ時間は最大 145 時間 注: 音声通話の場合、通話をしてバッテリーが完全に消耗するまでの時間を測定してバッテリー時間を計算します。実際のバッテリー使用時間は、ディスプレイやキーパッドの操作、XSI アプリケーションからのメッセージ、ローミングイベントやスキャンモード、AI ノイズ除去の有効化、Bluetooth ヘッドセットの使用によって異なる場合があります。通常の使用では、導入ガイドのバッテリーガイドラインに従っている場合、バッテリー駆動時間は、8 時間の一般的な業務シフトを通して使用できるはずです。 バッテリー容量は、500 回のフル充電サイクル後に 80% 以下に減少するため、Cisco Wireless Handset は約 18 ~ 24 か月ごとに交換する必要があります。

項目	仕様
入力電力	• 電話機: 100 ~ 240 VAC、~ 0.2A および 50 ~ 60 Hz • AC アダプタ (地域別)
動作温度	• デバイス: 14° ~ 122°F (-10° ~ 50°C) • バッテリー: -4° ~ 140°F (-20° ~ 60°C)
保管温度	• デバイス: -22° ~ 140°F (-30° ~ 60°C) • バッテリー: -4° ~ 113°F (-20° ~ 45°C)
相対湿度	• 10 ~ 95 % (結露しないこと)
振動	• 最大 1.5 Grms、両振幅 0.1 インチ (2.5 mm)、5 ~ 500 ~ 5 Hz の掃引を毎分 0.887 オクターブで実施し、互いに直交する 3 つの主要軸それぞれについて、3 つの主要ピークで 10 分間保持。
熱衝撃	• -22°F (-30°C) 1 時間、158°F (70°C) 1 時間
高度	• 実証済み操作: 0 ~ 6500 フィート (0 ~ 2 km)
耐久性	• 侵入保護規格 IP54 • MIL-STD-810G 衝撃および振動試験手順
落下仕様	• コンクリートに複数回落下しても耐えられます。12 回 (6 面、4 辺、底)
ヘッドセット	• ワイヤレス: Bluetooth 5.4 (BLE および BLE オーディオをサポート) • 有線: 3.5 mm ステレオヘッドホン/マイクジャック
コネクタ	• マグネット式 USB 2.0 On-The-Go (OTG) コネクタ

表 4. 認証とコンプライアンス

項目	仕様
安全性	• UL 60950-1 • CAN/CSA 60950-1 • IEC/EN 62368 • AS/NZS 62368 • IEC 60529 (IP 54)
電磁両立性と電磁干渉 (EMC/EMI)	• 47CFR パート 15 (CFR 47) クラス B • ICES-003 クラス B • EN 55032 : 2015+A11 : 2020 クラス B • EN 55035 : 2017+A11 : 2020 クラス B • EN 301 489-1 • EN 301 489-17 • CISPR 32 クラス B
通信	• FCC パート 68、HAC

項目	仕様
	• CS-03、HAC • AS/ACIF S004 • AS/ACIF S040 • NZ PTC 220 • 業界標準：TIA 810 および TIA 920
無線	• アメリカ合衆国:FCC パート 15C、FCC パート 15E • カナダ: RSS-247 • ETSI:EN 300 328、EN 301 893、EN303 687、EN300 440 • オーストラリアおよびニュージーランド:AS/NZS 4268
RF 曝露	• IEEE Std C95.1 • IEEE Std 1528 • EN IEC/IEEE 62209-1 • RSS-102 • IEC/EEE 61395-1 • EN 62209-2 • EN IEC 62311 • EN 50360 • EN 50566 • EN 50663 • EN 62479 • Radiocommunications (Electromagnetic Radiation- HumanExposure) Amendment Standard 2020 • AS/NZS 2772.2

発注情報

注: すべての Cisco IP Phones は、使用されている通話プロトコルに関わらず、**Phone Technology** ライセンスの購入が必要です。表 5 は Cisco Wireless Phone 9821 の発注情報を示しています。

表 5. 製品発注情報

項目	仕様
WP-9821-BUN-K9	Cisco ワイヤレスフォン 9821、バンドル、カーボンブラック
WP-9821-K9=	Cisco Wireless Phone 9821、カーボンブラック - 予備
WP-9821-BUN-CN-K9	Cisco Wireless Phone 9821、バンドル、カーボンブラック - 中国向け
WP-9821-DCHGR+PWR	9821 用のデスク充電器、電源アダプターおよび地域クリップ付属

項目	仕様
WP-9821-DCHGR=	Cisco Wireless Phone 9821 用のデスク充電器 - 予備
WP-9821-MCHGR+PWR	9821 用のマルチ充電器、電源アダプター、地域別電源コード付属
WP-9821-MCHGR=	Cisco Wireless Phone 9821 用マルチ充電器 - 予備
WP-9821-BATT=	Cisco Wireless Phone 9821 用バッテリー - 予備
WP-9821-CASEHLST=	Cisco Wireless Phone 9821 プラスチック製ホルスターケース - 予備
WP-9821-CASELTHR=	Cisco Wireless Phone 9821 用レザーケース - 予備
WP-9821-CASESIL=	Cisco Wireless Phone 9821 用シリコンケース - 予備
WP-9821-SWIVELCLP=	Wireless Phone 9821 ケース用交換用回転式クリップ、10 個 - 予備
WP-9821-LANYARD=	Cisco Wireless Phone 9821 用ネクストラップ、10 個 - 予備
WP-9821-BATTDOR=	Wireless Phone 9821 用交換用バッテリードア、10 個 - 予備
WP-9821-CAB-MAG=	Wireless Phone 9821 用電源ケーブル USB-A/MAG - 予備
WP-9821-CAB-DCHGR=	9821 用デスク充電器用 USB-A 電源ケーブル - 予備
WP-9821-MCHGR-WMK=	Wireless Phone 9821 用マルチ充電器壁面取り付けキット - 予備
CP-PWR-ADPT10W-AR=	Cisco 電源アダプター 10W、USB-A、アルゼンチンクリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-AU=	Cisco 電源アダプター 10W、USB-A、オーストラリアクリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-BR=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、ブラジルクリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-CN=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、中国クリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-EU=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、ヨーロッパ/スイスクリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-IN=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、インドクリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-KR=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、韓国クリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-NA=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、北米/日本クリップ - 予備
CP-PWR-ADPT10W-UK=	Cisco 電源アダプター 10W、USBA、イギリスクリップ - 予備
CP-PWR-PSU-90W=	9821 用 Cisco 電源アダプター 90W、電源コードなし - 予備
CP-PWR-CORD-AP=	電源コード、アジア太平洋 - 予備
CP-PWR-CORD-AR=	電源コード、アルゼンチン - 予備
CP-PWR-CORD-AU=	電源コード、オーストラリア - 予備
CP-PWR-CORD-BZ=	電源コード、ブラジル - 予備

項目	仕様
CP-PWR-CORD-CE=	中央ヨーロッパの電源コード - 予備
CP-PWR-CORD-CN=	電源コード、中国 - 予備
CP-PWR-CORD-JP=	電源コード、日本 - 予備
CP-PWR-CORD-KR=	電源コード、韓国 - 予備
CP-PWR-CORD-NA=	電源コード、北米 - 予備
CP-PWR-CORD-SA=	電源コード、南アフリカ - 予備
CP-PWR-CORD-SW=	電源コード、スイス - 予備
CP-PWR-CORD-TW=	電源コード、台湾 - 予備
CP-PWR-CORD-UK=	電源コード、イギリス - 予備

保証

Cisco Wireless Phone 9821 には、Cisco の 1 年間の標準交換保証が適用されます。Cisco Wireless Phone 9821、デスクトップチャージャー、マルチチャージャーに限り任意のサービス契約をご利用いただけます。バッテリーやキャリーケースなどの付属品にはご利用いただけません。9821 のバッテリーは 90 日間の保証が付いています。

ガイドライン

- この製品は医療機器ではなく、臨床判断に使用すべきではありません。本製品は、免許不要の周波数帯を使用する場合があります。この周波数帯は他のデバイスや装置からの干渉を受ける可能性があり、WLAN デバイスへのメッセージ配信は保証されません。
- 湿った布で簡単な掃除ができます。医療環境向けには、Cisco Wireless Phone 9821 は高濃度アルコール溶液の使用を含む厳しい清掃手順に耐えられるよう特別に設計されています。
- キャリーケースを使用すると、電話機を保護し、落下時の衝撃を軽減します。
- Cisco Wireless Phone 9821 は、IEC 規格 60529 に基づく IP54 の評価を受け、管理された実験室条件下で試験されました。水しぶきや水、ほこりに対する耐性は恒久的なものではなく、通常の摩耗によって耐性が低下することがあります。ユーザーは、Cisco Wireless Phone 9821 を慎重に扱い、ほこり、水しぶき、水が入り込むような好ましくない環境では使用しないようにします。濡れた Cisco Wireless Phone 9821 を充電したり、濡れたままデスクトップやマルチチャージャーに接続したりしないでください。Cisco Wireless Phone 9821 の液体による損傷は保証対象外です。
- Cisco が承認したバッテリーのみを使用してください。未承認のバッテリーの使用は危険を及ぼす可能性があり、使用すると電話機の保証が無効になります。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital® は、目標を達成するために最適なテクノロジーの導入を簡単にし、ビジネス変革を実現するとともに、競争力を維持します。総所有コスト（TCO）の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 か国以上で、当社の柔軟な決済ソリューションは、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、そして補完的なサードパーティ機器を簡単かつ予測可能な支払いで入手できるよう支援します

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)



米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)

Printed in USA

C78-6295304-00 06/26